



## 【 巻末 2 】

### 第2期岩手県ふるさと振興総合戦略 (令和5年12月改訂)

#### 県土整備部関係部分 抜粋





# 第2期岩手県ふるさと振興総合戦略 ふるさと振興の4本の柱と基本目標

## <基本目標>

岩手で働く

やりがいと生活を支える所得が得られる仕事を創出し、岩手への新たな人の流れの創出を目指します。

岩手で育てる

社会全体で結婚、妊娠・出産、子育てを支援し、安心して子どもを産み育てられる社会を目指します。

岩手で暮らす

医療・福祉や文化、教育など豊かなふるさとを支える基盤の強化を進め、地域の魅力向上を目指します。

岩手とつながる

関係人口や交流人口の拡大を図り、岩手と多様な形でつながることのできる社会を目指します。

## <施策推進目標>

若者の仕事や移住に関する願いに応え、県外への転出超過を解消する**社会減ゼロ**とともに、ものづくり産業や農林水産業等の振興による**県民所得水準の向上**を目指します。

結婚や出産は個人の決定に基づくものであることを基本としつつ、若い世代の就労、出会い、結婚、妊娠・出産、子育ての願いに応え、**出生率の向上**を目指します。

岩手に住みたい、働きたい、帰りたいという人々の願いに応えられる**豊かなふるさと岩手**をつくりあげます。

岩手に来たい、関わりたい、つながりたいという思いに応え、**多様な形で、いつでも、どこでも、誰もが岩手とつながることのできる社会**を目指します。

## <13の戦略>

- 1-1 商工業振興戦略
- 1-2 観光産業振興戦略
- 1-3 農林水産業振興戦略
- 1-4 ふるさと移住・定住促進戦略

- 2-1 若者の就労、出会い・結婚、妊娠・出産支援戦略
- 2-2 子育て支援戦略

- 3-1 魅力あるふるさとづくり戦略
- 3-2 文化スポーツ振興戦略
- 3-3 若者・女性活躍支援戦略
- 3-4 保健・医療・福祉充実戦略
- 3-5 ふるさとの未来を担う人づくり戦略

- 4-1 関係人口創出・拡大戦略
- 4-2 いわてまるごと交流促進戦略



岩手で働く

1-1 商工業振興戦略

1 国際競争力が高く、地域の産業・雇用に好循環をもたらすものづくり産業の振興

## (5) 企業誘致等による地域産業の拠点化・高度化の推進

- 製造業や情報通信業などの製造・技術部門に加え、物流などの関連部門、更には研究開発部門・企画総務部門などの本社機能移転も視野に入れた企業の誘致や、既立地企業の関連企業の誘致に取り組み、県内における一貫体制の構築と地域中核企業の一層の拠点化・高度化を推進します。
- 復興道路やコンテナ航路などの交通ネットワークを生かした企業誘致や、新分野への進出などによる企業の経営革新の促進に取り組みます。

17～20 復興道路等の整備効果

16 産業の振興につながる港湾の利活用

21 いわて建設業振興中期プラン2023

- 県北・沿岸地域においては、多様な就業の場を確保するための新規誘致や既立地企業の業容拡大に加え、地域全体の産業競争力の強化のため、地場企業を含めた生産性・技術力の向上などを支援しながら、地域産業の高度化に取り組みます。
- GXやDX関連など、様々な産業を対象とした企業誘致を通じ、若者・女性や、U・Iターン者をはじめ、多様な人材が活躍できる場を創出します。
- 市町村等と連携し、企業立地の受け皿となる産業立地基盤の整備や、ビジネス環境・生活環境の整備を促進します。



## (7) 港湾の利活用の促進

- 港湾を活用した産業振興を促進するため、港湾所在市、内陸市町及び協定先の港湾と連携し、温室効果ガス排出削減など社会的要請を踏まえた荷主企業等へのポートセールスを展開します。

16 産業の振興につながる港湾の利活用



## (6) 建設業における労働環境の整備、技術力・生産性の向上、経営基盤の強化

- 地域において社会資本の整備や維持管理、災害時の対応を担う建設業従事者の確保に向け、建設業の魅力の発信や労働環境の改善に向けた意識啓発を推進するとともに、若者や女性等が働きやすい労働環境の整備を促進します。
- 「いわて建設業振興中期プラン」に基づき、地域の建設企業の技術力・生産性の向上や経営基盤の強化、経営革新に対する支援等を推進します。
- インフラ分野のDXによる生産性の向上に向けて、i-Construction※を推進するため、建設分野へのICTの普及・拡大を図ります。

※ i-Construction：調査・測量から設計、施工、検査、維持管理・更新まで全ての建設生産プロセスでICT等を活用することによって、建設生産システム全体の生産性向上を図り、もって魅力ある建設現場を目指す取組。

21 いわて建設業振興中期プラン2023

22 けんせつ小町

23 建設業の人材育成(除雪訓練)

24 いわて建設業みらいフォーラム

25 高校生との協働による橋梁点検

26 インフラメンテナンス工事現場見学会

27 建設業の体験学習



## (2) 周遊・滞在型観光の推進

- ニューヨーク・タイムズ紙に掲載された効果を県全域に波及させるため、市町村や観光関連団体等と連携して首都圏等での情報発信の強化や観光キャンペーンを展開するとともに、**本県が持つ多様な観光の魅力**を来県者に提供し、広域周遊を促進します。

### 15 公共空間の利活用

- 北いわてMaasや東北MaasなどICTの活用と鉄道、バス、タクシー、レンタカーなどの二次交通ネットワークの充実を図り、より広く周遊できる受入体制整備を促進します。
- 3つの世界遺産や2つの国立公園など、「岩手ならではの」のコンテンツに高品質な「食」、「宿」などを組み合わせた高付加価値型の旅行商品造成を促進します。
- いわて花巻空港への空路を活用した、県内全域を広く周遊し、長く滞在する旅行商品造成を促進します。
- 平日、冬期間などの閑散期における観光需要の喚起に向け、ワーケーションやブレジャー等の仕事と休暇を組み合わせた滞在型旅行商品の開発を進めます。
- 閑散期の需要創出による観光需要の平準化を図り、観光地における混雑等を抑制し、感染拡大防止と観光振興の両立を進めます。

(次ページへ続く)



## (2) 周遊・滞在型観光の推進

(前ページからの続き)

- 御所野遺跡をはじめ、工芸品、食文化、スノーコンテンツ、高原牧場、温泉等の北いわての魅力を生かし、北東北各県と連携してプロモーションを展開し、北いわてへの誘客拡大を図ります。
- 教育旅行で来県した学校の旅行先として定着するよう、震災学習を通じた防災教育や地元漁師との海や食の体験など、SDGsをテーマとした三陸地域ならではの体験プログラムの商品造成支援や情報発信、バス運行支援等を実施して誘客拡大を推進します。
- **復興道路の全線開通により利便性が向上した新たな交通ネットワークを活用し、道の駅やオートキャンプ場、体験等の新たな観光コンテンツや三陸の食、自然などの観光資源の魅力を実感できる旅行商品の造成を促進します。**

17～19 復興道路等の整備効果



### (3) 外国人観光客の誘客拡大

- 東北各県と連携して、世界の各市場に対応したプロモーションを展開することにより、外国人観光客の東北全体への誘客を促進し、本県への入込み、宿泊者数の増加につなげます。
- ニューヨーク・タイムズ紙の掲載を好機として、海外の旅行会社や外国人旅行者向けのプロモーション、宿泊施設等における外国人観光客の受入態勢の充実などの取組を強化し、海外からの誘客拡大を図ります。
- コロナ禍後の外国人観光客の誘客促進に向け、台湾を最重点市場、これまで実績のある中国、香港、韓国を重点市場、訪日客数の伸びが期待される東南アジア、豪州、米国を開拓市場として設定し、各市場の情勢に応じたプロモーションの展開を図ります。
- データに基づくマーケティング分析を生かし、新たな市場の開拓や高付加価値旅行者の誘客促進等や、受入態勢整備を促進し、外国人観光客の誘客拡大に取り組みます。
- いわて花巻空港に国際定期便・チャーター便を就航している航空会社や、同空港を利用した旅行商品を造成・販売する旅行会社と連携したプロモーションを展開することにより、本県への誘客の拡大と、国際定期便等の利用促進を一体的に進めます。
- **多言語対応**や多様な食習慣への対応等の受入環境整備を支援することにより、積極的に外国人観光客を受け入れる宿泊、飲食、小売業などの観光事業者の拡大や対応力の底上げを図ります。

14 多言語対応おもてなしサイン(工事看板等)

(次ページへ続く)



### (3) 外国人観光客の誘客拡大

(前ページからの続き)

- 外国人個人旅行者（FIT）の誘客を図るため、情報取得手段として活用が広がるSNSを含め、ICTを活用した情報発信セミナーを実施するなど観光事業者自らが行う情報発信の基盤強化を支援します。
- 外国からのクルーズ船で来県する外国人向けの県内を周遊する旅行商品造成を促進します。

#### 13 クルーズ船の寄港拡大と花巻空港の整備

- 世界中の旅行者に質の高い本県の観光サービスに関する情報を提供し、安心して快適な旅行を楽しんでもらえるよう(公財)岩手県観光協会と連携して、宿泊施設のサクラクオリティ認証取得を促進します。



## (5) 観光振興や交流を支える道路整備

- 県内各地を周遊する観光客の利便性の向上を図るため、世界遺産や三陸ジオパークなど主要な観光エリアを結ぶ道路や観光振興に資する道路の整備、市町村と連携した道の駅の整備、広域的なサイクリングルート of 整備等を推進します。

10 世界遺産への観光ルート

11 いわてサイクルステーション

12 岩手県広域サイクリングルート

17～19 復興道路等の整備効果

20 岩手県の今後の道路整備



## (6) 県内港湾やいわて花巻空港の利活用の促進

- 観光振興や地域振興に資するクルーズ船の寄港拡大を図るため、港湾所在市や協定先港湾等と連携したクルーズ船社へのポートセールスを展開するとともに、外国船社クルーズ船寄港時の円滑な受入に向けた関係者との情報共有・調整に取り組めます。

### 13 クルーズ船の寄港拡大と花巻空港の整備

- 国内線の早期需要回復に向け、航空会社等と連携し、国内旅行商品の造成支援をはじめ、新聞・テレビ・WEBなど、様々なメディアを活用した広告のほか、各地でのイベントを通じた路線プロモーションなど、利用促進策の強化に取り組めます。
- 国内線の新たな需要の掘り起こしに向け、三陸鉄道などと連動した県内周遊商品による誘客促進や、企業・団体等によるビジネス利用の促進に取り組めます。
- 国内線の更なる利便性向上に向け、空港利用者のニーズを踏まえながら、路線、便数の維持・拡充やダイヤ改善等を航空会社に継続的に働きかけていきます。
- 国際線の安定的な運航の維持、更には、新規路線誘致を含めた運航拡大に向けて、就航先及び東アジアを中心とした地域の航空会社や旅行会社へ、積極的なエアポートセールスを展開します。
- 国際線の需要の回復及び拡大に向け、官民一体となったプロモーションなどインバウンドの利用促進に取り組むとともに、いわて花巻空港の利便性などをPRし、アウトバウンド利用拡大に取り組めます。



## (1) 移住者の受入態勢の整備

- 市町村や関係団体、NPOなど、様々な主体が移住者の受け入れや、定住の促進に向けた取組を行っていることから、オール岩手での移住・定住の促進を図るために、各主体の取組に関する情報共有や、連携強化を図ります。
- 本県への移住・定住を促進するため、県営住宅のストックを活用し、移住希望者や若者などが安心して生活できる環境を提供するとともに、市町村と連携して、若者や移住者などの空き家住宅の取得等に対する支援に取り組みます。

① 県営住宅による「住まい」の充実

② 若者の住宅支援

④ 空き家の利活用

⑤ お試し居住体験



## (2) 子どもが健やかに成長できる環境の整備

- 「岩手県子どもの幸せ応援計画」に基づき、子どもの将来がその生まれ育った環境に左右されることなく、子どもたちが自分の将来に希望を持てるよう、子どもの貧困対策の充実に向けて、学習環境の整備や福祉部門との連携強化などの教育の支援、相談事業の充実などの生活の支援、金銭の給付や奨学金の貸与などの経済的支援等に取り組みます。

### ① 県営住宅による「住まい」の充実

- ひとり親家庭等の多様なニーズに対応するため、民間団体や関係機関の緊密な連携による包括的な相談支援体制を構築するとともに、ひとり親家庭等が経済的に自立できるよう、保護者の就労支援や経済的な支援制度の周知と活用の促進等に取り組みます。
- 児童虐待の発生予防、早期発見、相談・対応機能の充実及び再発防止や、ヤングケアラーなど支援が必要な子どもたちへの地域における支援体制を構築するため、市町村の子ども家庭相談体制の充実や要保護児童対策地域協議会の機能強化に向けた取組を支援するとともに、児童相談所の体制強化や関係機関との連携に努めます。

(次ページへ続く)



## (2) 子どもが健やかに成長できる環境の整備

(前ページからの続き)

- 社会的養護を必要とする子どもたちの最善の利益の実現に向け、「岩手県社会的養育推進計画」に基づき、家庭的環境での養育を促進するために里親委託等の推進や児童養護施設等の環境改善・ケア体制の充実を図るとともに、施設を退所した子ども等への自立支援などの充実を図ります。
- 高度・専門・救急医療の確保を図るため、がん診療連携拠点病院等の機能強化の支援、小児救急医療対策の充実及び救命救急センターへの支援を進めるほか、ドクターヘリの安全かつ円滑な運航に取り組みます。



岩手で育てる

2-2 子育て支援戦略

2 学校と家庭、住民の協働による子どもの育ちと学びの支援

## (2) 豊かな体験活動の充実

- 子どもたちに放課後等の学習の場を提供するため、日常的に児童生徒が利用する放課後子供教室や放課後児童クラブ等による居場所づくり、地域学校協働活動等による多様な体験活動の実施に取り組みます。
- 子どもたちの体験学習の場を提供するため、青少年の家や野外活動センターなどの社会教育施設において、周辺の自然を生かした体験活動等の充実に取り組みます。
- 子どもたちの体験活動を充実させるため、従来の実体験プログラムとオンラインプログラムを組み合わせた放課後子供教室の特色ある事例を市町村等に情報提供するなど、取組の拡充を図ります。



❖ 岩手県  
Iwate Prefecture  
県土整備部

人口減少対策につながる取組事例集



～子育て編～

をご覧ください



県土 子育て

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kendoseibi/gaiyou/kosodate.html>

24 いわて建設業みらいフォーラム

25 高校生との協働による橋梁点検

26 インフラメンテナンス工事現場見学会

27 建設業の体験学習

28 県土整備部が実施する防災学習



## 岩手で暮らす

### 3-1 魅力あるふるさとづくり戦略

#### 1 快適で豊かな暮らしを支える生活環境づくり

## (1) 快適に暮らせる良質で環境に配慮した居住環境づくり

- 県産木材を活用するなど岩手らしさや高い断熱性能を備えた岩手型住宅の普及、住宅の耐震改修の促進など、快適で安全な住宅の普及を促進します。
- 高齢者等が安心して快適に居住できるよう、公営住宅のバリアフリー化及び省エネ化をはじめとする性能向上を推進するとともに、民間によるサービス付高齢者向け住宅、住宅確保要配慮者円滑入居賃貸住宅の普及を促進します。

#### ① 県営住宅による「住まい」の充実

#### ② 若者の住宅支援

#### ③ 岩手型住宅の普及

- 空き家対策を推進するため、空き家バンクの円滑な利活用に向けた市町村への支援を行うとともに、市町村と連携して、若者や移住者などの空き家住宅の取得等に対する支援に取り組みます。
- 地域の魅力を高め、地域を活性化するリノベーションまちづくりを促進します。
- 空き家、耕作放棄地などの遊休資産を有効に活用するシェアリング・エコノミーの推進や、PFIなどの公民連携の手法を導入した持続的な社会資本の整備と効果的な運用による住みやすい地域づくりを推進します。

#### ④ 空き家の利活用



## (2) 衛生的で快適な生活環境の保全

- 健全かつ安定的な水道事業の運営がなされるよう、地域の状況や見通しを踏まえ、広域連携の検討グループを設置するなど、「岩手県水道広域化推進プラン」に基づき広域連携の取組を促進するほか、水道の基盤強化のため、水道法に基づき県において「水道基盤強化計画」の策定を進めます。
- 災害時においても給水機能を確保するため、市町村等の水道施設の計画的な耐震化対策の取組を促進します。
- 人口減少等の影響を考慮しつつ、市町村との連携による、地域の実情に合った効率的な污水处理施設の整備を推進します。
- 污水处理施設の持続的な運営を図るため、流域下水道事業の健全経営に取り組むとともに、下水道事業等の効率的な経営への助言や、広域化・共同化計画に基づく市町村の取組を促進します。
- 豊かな水資源の保全や污水处理の必要性についての住民理解を深めるため、啓発活動を推進します。

⑦ 衛生的で快適な生活環境(污水处理)



### (3) 快適で魅力あるまちづくりの推進

- 市町村との連携により適正な土地利用を図りながらコンパクトな都市形成を促進するとともに、渋滞緩和等の都市交通の円滑化や快適な都市空間の創出に資する都市計画道路の整備、市街地の無電柱化などにより、魅力あるまちづくりを推進します。
- 「ひとにやさしいまちづくり条例」に基づき、多くの人が利用する特定公共的施設のバリアフリー化を促進します。

#### ⑥ 快適で魅力あるまちづくり

- 地域の景観点検等を通じて、住民が主体となって地域の景観の魅力を発見し、その価値を高める活動を促進します。
- 子どもが地域の景観の魅力や個性を考える景観学習の実施を通じて、次世代の景観づくりの担い手の育成を推進します。

#### ⑧・⑨ 岩手らしい景観づくり



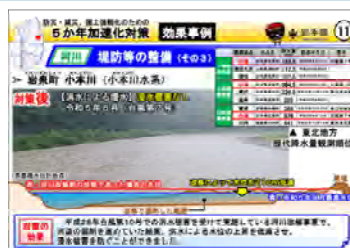
### (3) 県民への正しい防災知識の普及と防災意識の向上(自助)

- 県広報誌などによる広報活動や地域防災サポーター制度を活用した県民向けの出前講座などにより、県民の防災意識の向上を図ります。  
**28 県土整備部が実施する防災学習**
- 県立総合防災センターや防災指導車「防災そばっち号」の利用促進により、県民への正しい防災知識の普及に取り組みます。
- 県民一人ひとりが高い防災意識を持ち、主体的に情報を収集し、災害から身を守る力を備えるため、各種広報媒体を活用し、防災情報の入手方法や、当該情報を活用した災害リスクの把握方法などの周知を図ります。
- 教員を対象とした研修会の実施や防災教材の活用など防災教育に継続して取り組みます。



## (1) ハード対策とソフト施策を効果的に組み合わせた防災・減災対策

- 洪水災害に対する安全度の向上を図るため、これまでの被害状況等を踏まえて築堤や河道掘削などの河川改修等を推進します。
- 避難のための情報の充実など安全な避難体制の構築に向けて、水位周知河川や洪水浸水想定区域の指定などを進め、河川の水位や水害リスク等に係る防災情報の充実強化を図ります。
- 激甚化・頻発化する自然災害に備え、流域全体のあらゆる関係者が協働して行う流域治水の深化を図るとともに、流域治水への住民参画の取組を拡大します。
- 津波による被害を最小限に抑えるため、津波防災施設の整備を推進するとともに、避難のための情報の充実など安全な避難体制の構築等を進めます。
- 土砂災害に対する安全度の向上を図るため、これまでの被害状況等を踏まえて砂防堰堤や急傾斜地崩壊対策施設等の整備に取り組みます。
- 土砂災害が発生するおそれのある新たな箇所的基础調査結果を公表して危険性のある箇所を明らかにするとともに、土砂災害警戒区域等の指定などを進め、土砂災害に係る防災情報の充実強化を図ります。



岩手県  
Iwate Prefecture

防災・減災、国土強靱化  
5か年加速化対策事例集

をご覧ください

岩手 5か年

<https://www.pref.iwate.jp/kendozukuri/kendoseibi/gaiyou/kasokuka.html>





岩手で暮らす

3-1 魅力あるふるさとづくり戦略

11 安全・安心を支える社会資本の整備

## (2) 公共建築物等の耐震化による安全の確保

- 「岩手県耐震改修促進計画」に基づき、防災拠点建築物や多数の人が利用する建築物の耐震化を促進します。

岩手で暮らす

3-1 魅力あるふるさとづくり戦略

11 安全・安心を支える社会資本の整備

## (3) 災害に強い道路ネットワークの構築

- 災害に強い道路ネットワークを構築するため、高規格道路を補完する道路等の整備を推進します。
- 災害時に迅速な避難・救急活動や緊急物資の輸送等が行えるよう、緊急輸送道路の通行危険箇所やあい路の解消、橋梁の耐震化、道路防災対策及び道の駅の防災機能の強化等を推進します。
- 道路利用者が安全に通行できるよう、通行規制や積雪状況などの道路情報の提供を行います。

17～19 復興道路等の整備効果

20 岩手県の今後の道路整備



## (4) 日常生活を支える安全な道づくりの推進

- 救急医療や地域医療を支援するため、救急搬送ルート of 整備を推進します。
- 岩手の厳しい気候の中においても冬期間の安全で円滑な道路通行の確保を図るため、除雪の着実な実施や除雪に必要な堆雪幅を確保した道路整備等を推進します。
- 歩行者や自転車利用者の安全な通行を確保するため、通学路等への歩道設置や交通安全施設等の整備、自転車通行空間の整備を推進します。
- 車両の安全な通行を確保するため、すれ違い困難等により支障が生じている路線において、待避所設置や路肩拡幅などを効果的に組み合わせた、地域の実情に応じた道路の整備に取り組みます。

17～19 復興道路等の整備効果

20 岩手県の今後の道路整備



## (5) 産業振興や交流を支える道路整備

- 物流の効率化など生産性向上による産業振興を支援するため、内陸部と物流拠点である港湾を結ぶ路線や工業団地、インターチェンジへのアクセス道路など、物流の基盤となる道路の整備を推進します。
- 県内各地を周遊する観光客の利便性の向上を図るため、世界遺産や三陸ジオパークなど主要な観光エリアを結ぶ道路や観光振興に資する道路の整備、市町村と連携した道の駅の整備、広域的なサイクリングルート等の整備等を推進します。

⑩ 世界遺産への観光ルート

⑪ いわてサイクルステーション

⑫ 岩手県広域サイクリングルート

⑬ 産業の振興につながる港湾の利活用

⑭～⑯ 復興道路等の整備効果

⑰ 岩手県の今後の道路整備



## 社会資本の適切な維持管理等の推進

- 老朽化が進む社会資本の機能を将来にわたって発揮し続けるため、道路や河川、住宅など16分野の個別施設計画に基づき、早期に修繕が必要な橋梁やトンネル等の老朽化対策の加速化を図り、予防保全型の維持管理への転換を進めるなど、適切な維持管理に取り組みます。
- 空き住戸を活用した移住・定住の促進により、県営住宅ストックの有効活用に取り組みます。

① 県営住宅による「住まい」の充実

⑤ お試し居住体験



## (2) 若者の活躍を支援する仕組みの充実

- 地域をけん引する若者の人材育成につながるよう、若者の活動を支えるキーパーソンによる支援や助言の充実を図りながら、県内全域で若者活躍に関する相談支援が受けられる環境づくりを進めます。
- 若者の主体的な活動への参画を促進するため、若者が求めている情報を発信します。
- 地域づくりや復興等に関し、若者が活躍できるよう、若者の主体的活動の機会を創出し、若者団体の新しいアイディアによる地域課題の解決や地域の活性化に資する取組を支援します。
- 若者が生きやすい、住みやすい地域社会の形成につながるよう、地域の様々な主体が、若者が持っている価値観や考え方を改めて認識し、若者と大人との相互理解や支援に取り組み、地域をけん引する若者を育む環境づくりを推進します。

### ② 若者の住宅支援



## (3) 女性の活躍推進のための環境づくり

- 女性が働きやすい職場環境づくりに向け、関係団体と緊密に連携し、いわて女性活躍企業等認定制度の更なる普及拡大や経営者の意識醸成、ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた企業等の取組を促進します。
  - 21 いわて建設業振興中期プラン2023
  - 22 けんせつ小町
- アンコンシャス・バイアス（無意識の偏見）をなくし、性別にかかわらず誰もが助け合える企業風土づくりに向け、セミナーや企業見学会の開催を通じて、経営者の意識醸成や企業文化の醸成の取組を促進します。
- 「いわてで働こう推進協議会」を核とした「いわて働き方改革推進運動」の展開により、デジタル技術等を活用した労働生産性の向上、長時間労働の是正、休暇制度の整備などを促進し、魅力ある職場環境づくりを進めます。
- 仕事と子育ての両立支援などに取り組む企業等の表彰・認証の促進などにより、子育てにやさしい職場環境づくりを支援します。
- 様々な状況に置かれている女性に必要な支援情報が届くよう、SNS等の活用も含めた効果的な情報提供を行います。また、女性の就労確保や所得向上に向けて、デジタル分野をはじめとする新たなスキルの習得等、キャリア形成を支援します。



## (5) 建設業の将来を担う人材の確保、育成

- 建設業の魅力の発信や労働環境の改善に向けた意識啓発を推進し、若者・女性をはじめとする建設業の将来を担う人材の確保・定着を図ります。
- インフラ分野のDX推進に向けて、関係機関と連携して講習会を実施するとともに、建設分野へのICTの普及・拡大を図ります。

21 いわて建設業振興中期プラン2023

22 けんせつ小町

23 建設業の人材育成(除雪訓練)

24 いわて建設業みらいフォーラム

25 高校生との協働による橋梁点検

26 インフラメンテナンス工事現場見学会

27 建設業の体験学習



## 岩手とつながる 4-1 関係人口創出・拡大戦略

1 いつでも、どこでも岩手とつながることができる  
環境の整備

### (1) いつでも岩手とつながることができる環境の整備

- 岩手県内の市町村と連携した情報発信により、いつでも岩手とつながる情報・サービスを提供するなどICTを利活用した多様な関係の創出に取り組みます。特に、ニューヨーク・タイムズ紙の掲載効果を県全域に波及させるため、市町村等と連携し、情報発信の強化や関係人口拡大に向けた取組の充実を図ります。
- AIを活用した地域情報と興味関心・ニーズとの最適マッチングや各種提案などきめ細かなサポートにより、U・Iターンを促進します。
- 移住希望者をはじめ広く県外在住の人々が岩手の魅力を知り、岩手で暮らしたくなるよう、ホームページやSNS、情報誌等の活用により、訴求力の高い情報発信など移住施策に取り組みます。

#### ⑧・⑨ 岩手らしい景観づくり

- 県内各地での仕事やライフスタイルに関する情報発信や双方向での情報交換など、産学官金が連携したSNSの活用を促進し、関係人口の創出・拡大につながる岩手ファンの拡大に向けた取組を推進します。また、バーチャルユーチューバー（VTuber）による動画配信なども効果的に活用し、岩手ファンの裾野拡大に向けて取り組みます。



#### (1) 外国人観光客の誘客拡大

- 東北各県と連携して、世界の各市場に対応したプロモーションを展開することにより、外国人観光客の東北全体への誘客を促進し、本県への入込み、宿泊者数の増加につなげます。
- ニューヨーク・タイムズ紙の掲載を好機として、海外の旅行会社や外国人旅行者向けのプロモーション、宿泊施設等における外国人観光客の受入態勢の充実などの取組を強化し、海外からの誘客拡大を図ります。
- コロナ禍後の外国人観光客の誘客促進に向け、台湾を最重点市場、これまで実績のある中国、香港、韓国を重点市場、訪日客数の伸びが期待される東南アジア、豪州、米国を開拓市場として設定し、各市場の情勢に応じたプロモーションの展開を図ります。
- データに基づくマーケティング分析を生かし、新たな市場の開拓や高付加価値旅行者の誘客促進等や、受入態勢整備を促進し、外国人観光客の誘客拡大に取り組みます。
- いわて花巻空港に国際定期便・チャーター便を就航している航空会社や、同空港を利用した旅行商品を造成・販売する旅行会社と連携したプロモーションを展開することにより、本県への誘客の拡大と、国際定期便等の利用促進を一体的に進めます。
- **多言語対応**や多様な食習慣への対応等の受入環境整備を支援することにより、積極的に外国人観光客を受け入れる宿泊、飲食、小売業などの観光事業者の拡大や対応力の底上げを図ります。

14 多言語対応おもてなしサイン(工事看板等)



## (1) 外国人観光客の誘客拡大

(前ページからの続き)

- 外国人個人旅行者（FIT）の誘客を図るため、情報取得手段として活用が広がるSNSを含め、ICTを活用した情報発信セミナーを実施するなど観光事業者自らが行う情報発信の基盤強化を支援します。
- 外国からのクルーズ船で来県する外国人向けの県内を周遊する旅行商品造成を促進します。

### 13 クルーズ船の寄港拡大と花巻空港の整備

- 世界中の旅行者に質の高い本県の観光サービスに関する情報を提供し、安心して快適な旅行を楽しんでもらえるよう(公財)岩手県観光協会と連携して、宿泊施設のサクラクオリティ認証取得を促進します。



## (2) 県内港湾やいわて花巻空港の利活用の促進

- 観光振興や地域振興に資するクルーズ船の寄港拡大を図るため、港湾所在市や協定先港湾等と連携したクルーズ船社へのポートセールスを展開するとともに、外国船社クルーズ船寄港時の円滑な受入に向けた関係者との情報共有・調整に取り組めます。

### 13 クルーズ船の寄港拡大と花巻空港の整備

- 国内線の早期需要回復に向け、航空会社等と連携し、国内旅行商品の造成支援をはじめ、新聞・テレビ・WEBなど、様々なメディアを活用した広告のほか、各地でのイベントを通じた路線プロモーションなど、利用促進策の強化に取り組めます。
- 国内線の新たな需要の掘り起こしに向け、三陸鉄道などと連動した県内周遊商品による誘客促進や、企業・団体等によるビジネス利用の促進に取り組めます。
- 国内線の更なる利便性向上に向け、空港利用者のニーズを踏まえながら、路線、便数の維持・拡充やダイヤ改善等を航空会社に継続的に働きかけていきます。
- 国際線の安定的な運航の維持、更には、新規路線誘致を含めた運航拡大に向けて、就航先及び東アジアを中心とした地域の航空会社や旅行会社へ、積極的なエアポートセールスを展開します。
- 国際線の需要の回復及び拡大に向け、官民一体となったプロモーションなどインバウンドの利用促進に取り組むとともに、いわて花巻空港の利便性などをPRし、アウトバウンド利用拡大に取り組めます。



#### (4) 周遊・滞在型観光の推進

- ニューヨーク・タイムズ紙に掲載された効果を県全域に波及させるため、市町村や観光関連団体等と連携して首都圏等での情報発信の強化や観光キャンペーンを展開するとともに、**本県が持つ多様な観光の魅力**を来県者に提供し、広域周遊を促進します。

#### 15 公共空間の利活用

- 北いわてMaaSや東北MaaSなどICTの活用と鉄道、バス、タクシー、レンタカーなどの二次交通ネットワークの充実を図り、より広く周遊できる受入体制整備を促進します。
- 3つの世界遺産や2つの国立公園など、「岩手ならではの」のコンテンツに高品質な「食」、「宿」などを組み合わせた高付加価値型の旅行商品造成を促進します。
- いわて花巻空港への空路を活用した、県内全域を広く周遊し、長く滞在する旅行商品造成を促進します。
- 平日、冬期間などの閑散期における観光需要の喚起に向け、ワーケーションやブレジャー等の仕事と休暇を組み合わせた滞在型旅行商品の開発を進めます。
- 閑散期の需要創出による観光需要の平準化を図り、観光地における混雑等を抑制し、感染拡大防止と観光振興の両立を進めます。

(次ページへ続く)



## (4) 周遊・滞在型観光の推進

(前ページからの続き)

- 御所野遺跡をはじめ、工芸品、食文化、スノーコンテンツ、高原牧場、温泉等の北いわての魅力を生かし、北東北各県と連携してプロモーションを展開し、北いわてへの誘客拡大を図ります。
- 教育旅行で来県した学校の旅行先として定着するよう、震災学習を通じた防災教育や地元漁師との海や食の体験など、SDGsをテーマとした三陸地域ならではの体験プログラムの商品造成支援や情報発信、バス運行支援等を実施して誘客拡大を推進します。
- **復興道路の全線開通により利便性が向上した新たな交通ネットワークを活用し、道の駅やオートキャンプ場、体験等の新たな観光コンテンツや三陸の食、自然などの観光資源の魅力を実感できる旅行商品の造成を促進します。**

17～19 復興道路等の整備効果



### (3) 3つの世界遺産の連携・交流の推進

- 本県が有する3つの世界遺産及び関連資産を地域振興につなげるため、相互に連携・交流を行いながら、一体的な取組を推進し、県内外に向けた魅力向上・来訪促進・周遊促進を図ります。

#### 10 世界遺産への観光ルート

- 平泉世界遺産ガイダンスセンターを拠点とし、世界遺産や関連史跡、関連施設との連携を深めながら、文化資源の活用による文化観光の取組を推進します。